

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第13週 >

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.6-7

麻疹ウイルス 2011年



速報
P.8-11

パラチフス 2010年



海外感染症情報
P.12-13

鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況 / 鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況 / 鳥インフルエンザ - バングラデシュにおける状況



感染症の話
P.14-17

< ハンセン病 >

皮膚と末梢神経を主な病変とする抗酸菌感染症である



読者のコーナー
P.18-19

塩釜~多賀城地区における震災後の成人呼吸器感染症発症状況



グラフ総覧(13週)
P.20-25



13週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

< 第13週コメント > 4月6日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核328例

3類感染症

細菌性赤痢2例

菌種: *S. boydii* (C群) 1例__感染地域: インド
S. sonnei (D群) 1例__感染地域: 東京都

腸管出血性大腸菌感染症4例(有症者3例、うちHUSなし)

感染地域: 国内4例
国内の感染地域: 岩手県1例、兵庫県1例、福岡県1例、宮崎県1例
年齢群: 5歳(1例)、20代(2例)、50代(1例)
血清型・毒素型: O91 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O157 VT1・VT2(1例)、O157 VT2(1例)
累積報告数: 180例(有症者98例、うちHUS 4例、死亡1例)

4類感染症

A型肝炎2例

感染地域: 埼玉県1例、広島県1例

オウム病3例

感染地域: 大阪府2例、国内(都道府県不明)1例
感染源: セキセイインコ3例

つつが虫病1例

感染地域: マレーシア

デング熱1例

感染地域: ベトナム

マラリア1例

熱帯熱__感染地域: ギニア

レジオネラ症8例(肺炎型6例、ポンティアック型1例、無症状病原体保有者1例)

感染地域: 岩手県1例(津波に関連)、茨城県1例、石川県1例、京都府1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)3例
年齢群: 2歳(1例)、40代(1例)、60代(1例)、70代(1例)、80代(3例)、90代(1例)

* 震災以降、被災地での津波に関連した感染例が計4例(岩手県2例、宮城県2例)報告されている。年齢は、2歳、30代、60代、70代各1例である。

5類感染症

アメーバ赤痢6例(腸管アメーバ症6例)

感染地域: 東京都1例、神奈川県1例、国内(都道府県不明)2例、韓国1例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触2例(異性間1例、異性間・同性間不明1例)、経口感染1例、その他・不明3例

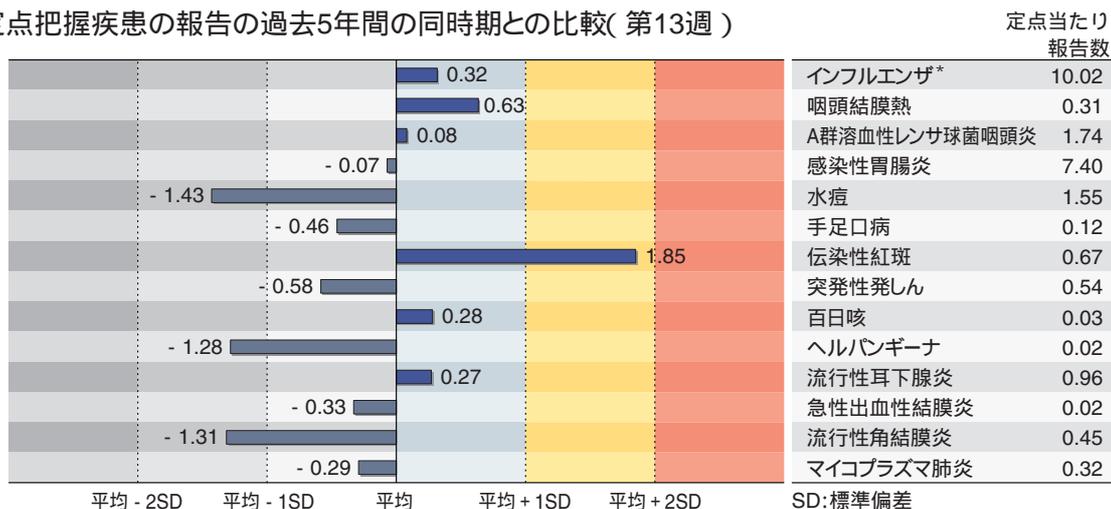
ウイルス性肝炎2例 B型1例__感染経路:不明
C型1例__感染経路:不明
急性脳炎2例 病原体不明2例__年齢群:0歳(1例) 6歳(1例)
クリプトスポリジウム症1例
感染地域:東京都
クロイツフェルト・ヤコブ病3例
孤発性プリオン病古典型3例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例
年齢群:50代(1例) 60代(1例)
後天性免疫不全症候群6例(AIDS 4例、無症候2例)
感染地域:国内4例、セネガル1例、国内・国外不明1例
感染経路:性的接触4例(異性間2例、同性間1例、異性/同性間1例) 不明2例
ジアルジア症2例 感染地域:ネパール1例、マダガスカル1例
梅毒10例(早期顕症I期3例、早期顕症II期2例、無症候5例)
風しん4例(検査診断例4例)
感染地域:埼玉県1例、国内(都道府県不明)1例、ベトナム/中国1例、タイ/ベトナム/ラオス1例
年齢群:20～24歳(1例) 25～29歳(1例) 40代(2例)
麻しん7例〔麻しん(検査診断例5例、臨床診断例1例) 修飾麻しん(検査診断例1例)〕
感染地域:国内7例
国内の感染地域:青森県1例、東京都1例、愛知県1例、山口県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)2例
年齢群:1歳(2例) 5～9歳(1例) 15～19歳(1例) 20～24歳(2例) 40代(1例)
累積報告数:93例〔麻しん(検査診断例49例、臨床診断例26例) 修飾麻しん(検査診断例18例)〕

(補)他に2011年第12週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例〔感染地域(感染源):北海道(不明)〕、エキノコックス症1例〔単包条虫__感染地域:パキスタン〕、ライム病1例〔感染地域:シリア/ヨルダン〕、急性脳炎2例〔ロタウイルス1例(7歳) 病原体不明1例(10代)〕、風しん2例〔検査診断例1例、臨床診断例1例。感染地域:東京都1例、神奈川県1例。年齢群:10～14歳(1例) 20～24歳(1例)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第13週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮崎県(26.41)、大分県(25.67)、石川県(21.10)、福岡県(19.34)、高知県(18.35)、山口県(17.51)、広島県(17.23)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は627例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別では福井県(1.27)、佐賀県(0.87)、兵庫県(0.86)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では石川県(6.2)、宮崎県(5.2)、福井県(4.5)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(17.8)、鹿児島県(15.3)、熊本県(13.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(4.35)、宮崎県(3.17)、鹿児島県(2.93)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(1.44)、和歌山県(0.55)、高知県(0.50)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では石川県(2.45)、山形県(1.87)、宮崎県(1.83)、佐賀県(1.70)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県(0.14)、鳥取県(0.11)、福岡県(0.11)が多い。

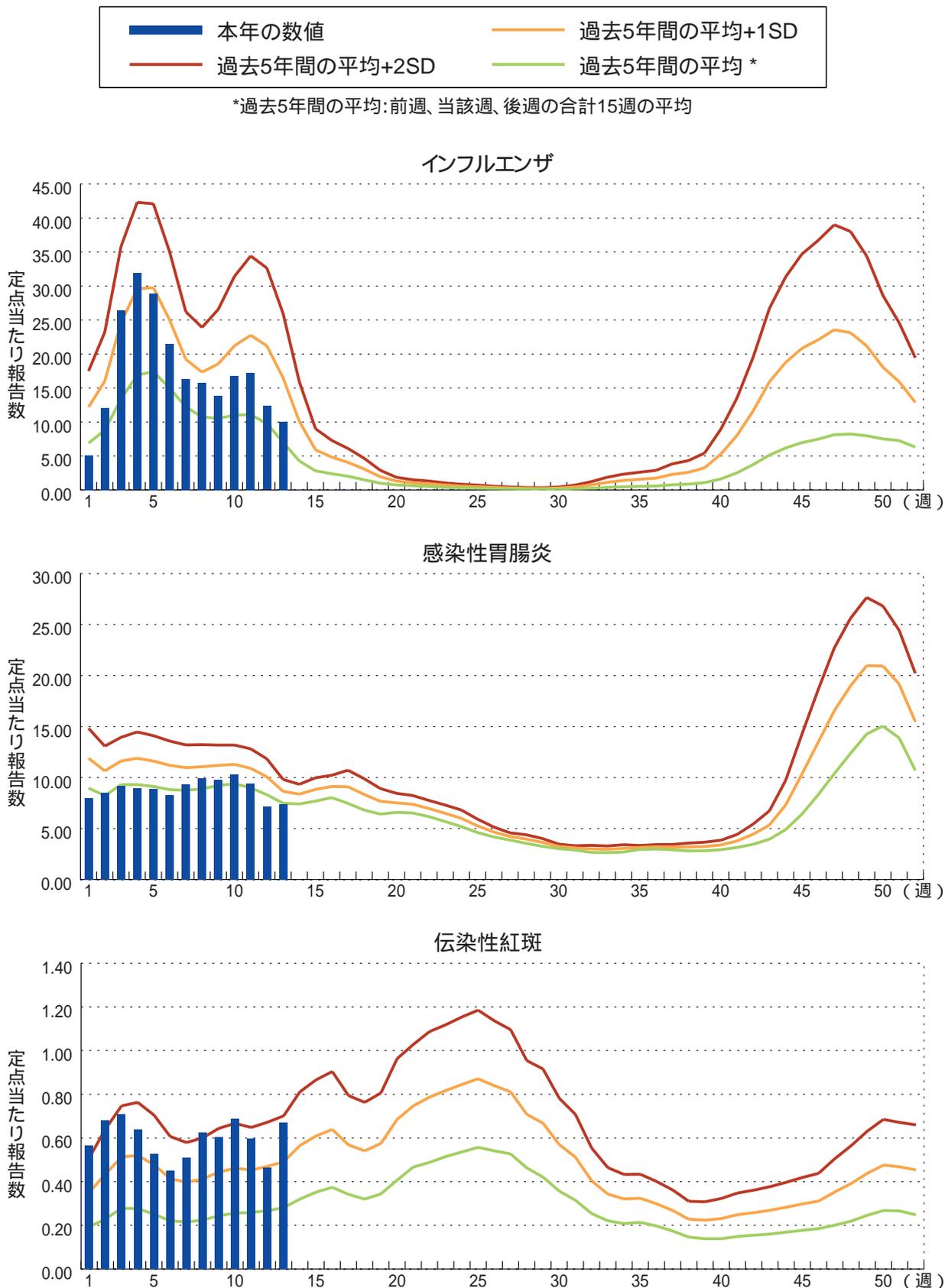
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岩手県(0.26)、滋賀県(0.19)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では長野県(4.73)、香川県(3.70)、鳥取県(2.95)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(3.57)、埼玉県(1.44)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第13週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

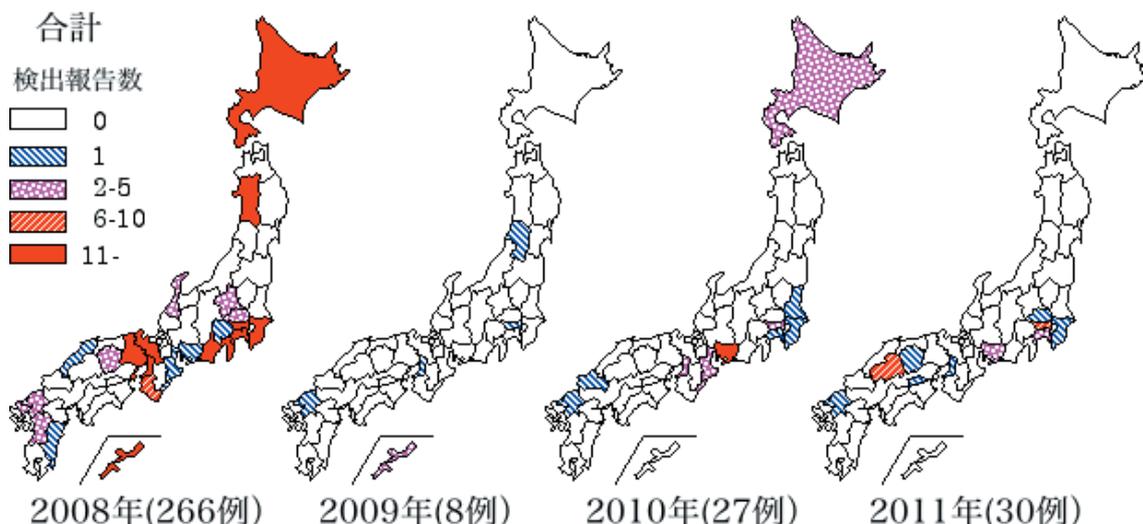
(2011年4月7日現在報告分)

麻疹ウイルス 2011年

2011年1～4月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県の10都府県から30件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2008～2011年

(病原微生物検出情報：2011年4月7日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

D4型: 1月1件、3月1件、4月1件、計3件

- ・東京都1月1件、英国から入国する2日前に発症した患者から
- ・大阪府3月1件、フランスから帰国して3日後に発症した患者から
- ・東京都4月1件、ドイツ・スイス・フランスから帰国して13日後に発症した患者から

D8型: 3月広島県1件、オーストリアから帰国して8日後に発症した患者から

D9型: 1月12件、2月9件、3月2件、計23件

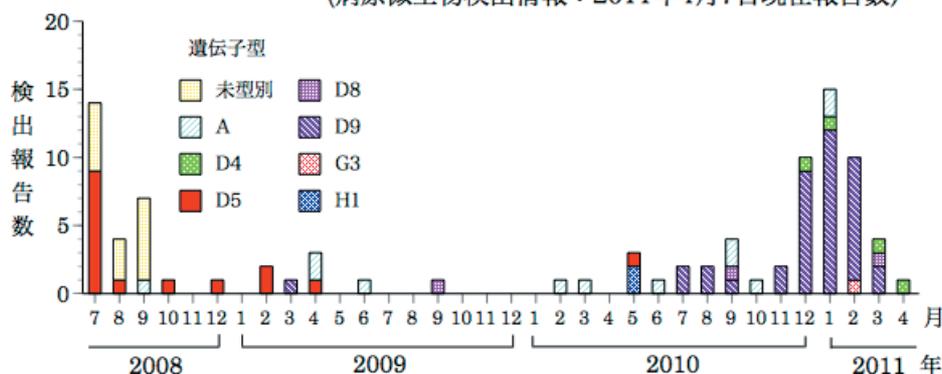
- ・愛知県1月3件、2010年11月から続いている感染拡大による集団発生例から
- ・東京都1月2件、シンガポール・スリランカから帰国する3日前に発症した患者とフィリピンから帰国して9日後に発症した患者から
- ・東京都2月2件、3月2件、渡航歴のない散发例から
- ・埼玉都2月1件、渡航歴のない散发例から
- ・神奈川県1～2月2件、フィリピンから帰国して7日後に発症した患者とその家族から
- ・岡山県1月1件、フィリピンから帰国して8日後に発症した患者から
- ・広島県1月5件、2月4件、フィリピンから帰国した翌日に発症した患者1例とその周囲への感染拡大による集団発生例6例、および地域の散发例2例から
- ・香川県2月1件、広島県で感染したと推定される患者から

G3型: 2月千葉県1件、インドネシアから帰国して10日後に発症した患者から

A型(ワクチンタイプ): 1月2件

- ・東京都1月1件、発疹症患者、ワクチン接種13日後に採取された検体から
- ・福岡県1月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種歴不明

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2008年7月～2011年4月
(病原微生物検出情報：2011年4月7日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



麻疹ウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html> を参照ください。



パラチフス 2010年 (2011年3月25日現在)

パラチフスはパラチフスA菌(*Salmonella Paratyphi A*)の感染によって起こる全身性感染症である。一般のサルモネラ感染症とは区別され、腸チフスとともにチフス性疾患と総称される。パラチフスA菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。通常は1～3週間の潜伏期の後、発熱で発症し、熱は段階的に上昇して39～40℃に達する。主要症状は発熱の持続で、他に特記すべき症状がないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える)、脾腫が3主徴とされるが、これらの出現率は30～50%程度である。便秘、時には下痢のみられることもある。また、昏迷状態など意識障害を起こすこともある。合併症として腸出血、それに続く腸穿孔を起こすことがあるが、ニューキノロン薬が治療に使用されるようになってからは稀となった。このように、症状はチフス菌(*Salmonella Typhi*)による腸チフスとほとんど同様であり、従来腸チフスに比べて軽症であると言われてきたが、同程度とする報告もある。最近、チフス菌、パラチフスA菌ともに、ニューキノロン系薬低感受性菌の増加が問題になっているので、治療の際には注意が必要である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/30/350/dj3501.html>)。

パラチフスは、1999年4月1日施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、法改正(2007年4月施行)により3類感染症に変更され、現在は患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見されている。

2010年の報告数(診断週が2010年第1～52週で、2011年3月25日までに報告されたもの)は21例であった。感染症法施行以降の過去の報告数は、1999年(4月～)30例、2000年20例、2001年22例、2002年35例、2003年44例、2004年91例、2005年20例、2006年26例、2007年22例、2008年27例、2009年27例であり、2001年以降増加傾向が認められ、2004年は腸チフスを超える報告数となったが、2005年には著減して、その後は20例台の報告数となっている(図1)。

2010年に報告された21例は、患者18例、無症状病原体保有者3例であった。無症状病原体保有者の発見の機会、他疾患の術前検査、他疾患の入院時検査、患者の同行者調査が各1例であった。21例は男性12例、女性9例で、年齢中央値は45歳(18～70歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内2例(うち無症状病原体保有者1例)、国外19例(うち無症状病原体保有者2例)であった。パラチフスによる死亡ではないが、無症状病原体保有者(60代男性)の他疾患(腹部大動脈瘤破裂)による死亡が報告された。

患者18例で報告された症状は、高熱17例、下痢13例、脾腫3例、比較的徐脈2例で、便秘の報告はなかった(以上は届出様式に記載されていて選択された症状)。また、その他の症状として、肝障害2例、微熱・上腹部痛1例、右季肋部痛1例、胸痛・呼吸困難1例の記載があった。

病原診断は細菌培養による分離・同定により行われているが、その検体の種類は、血液18例、便2例、胆汁1例であった。

図1. 腸チフス・パラチフスの年別・感染地域別報告数(2000～2010年)

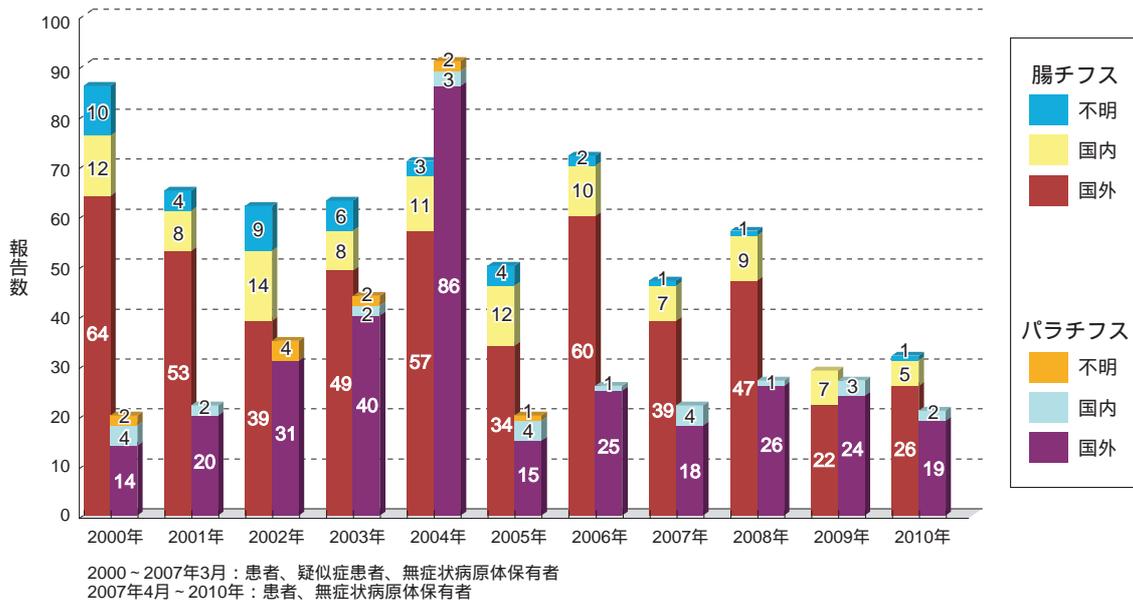
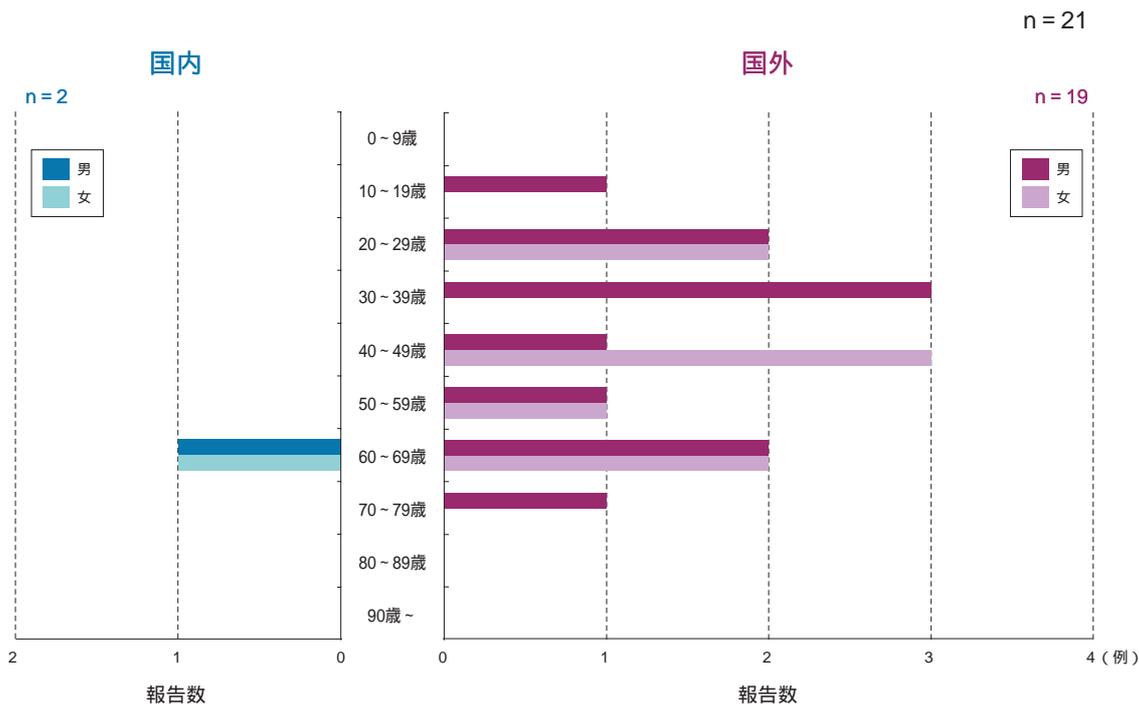


図2. パラチフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2010年)



国内を感染地域とする2例は、60代男性(無症状病原体保有者)と60代女性であった(図2)、60代女性の発症月は3月(図3)、感染原因は不明であった。

国外を感染地域とする19例は、男性11例、女性8例で、年齢群別にみると、10代1例、20代4例、30代3例、40代4例、50代2例、60代4例、70代1例(年齢中央値43歳)であった(図2)。患者17例(無症状病原体保有者2例を除く)の発症月をみると、多い順に、8月4例、6月3例、1月、2月、3月、4月各2例、9月、11月各1例であり、目立った季節性は認められなかった(図3)。感染地域別では、南アジアが17例(インド9例、ネパール、バングラデシュ各3例、インド/ネパール、インド/バングラデシュ各1例)、南/東南/東アジア1例(バングラデシュ/タイ/インドネシア/中国)、東アジア1例(フィリピン)であり、特に南アジアが多い状況は従来どおりであった(図4)。

図3. パラチフスの感染地域別・発症月別報告数(2010年)

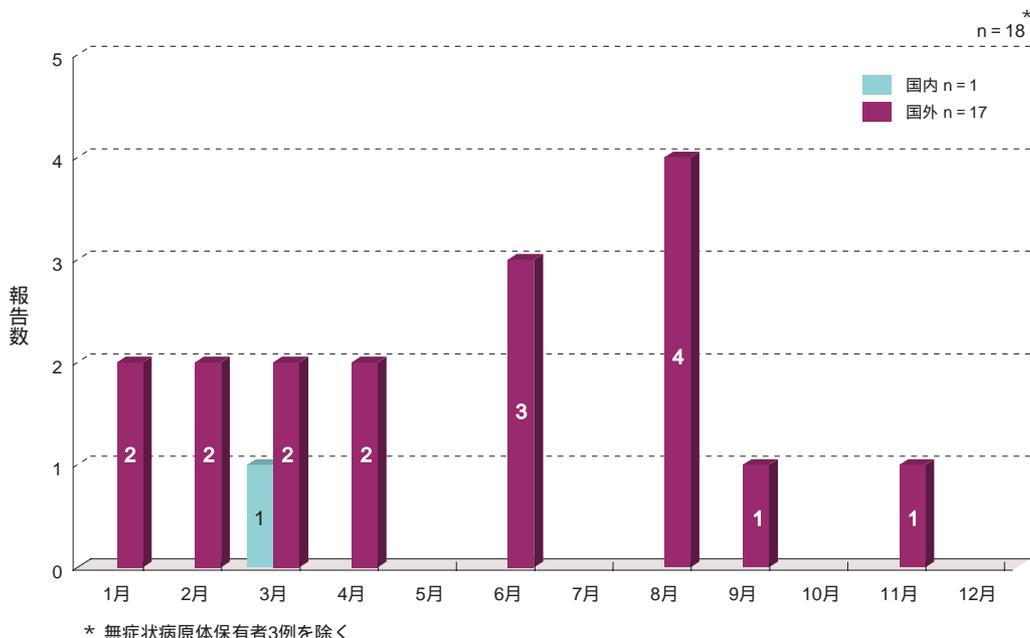
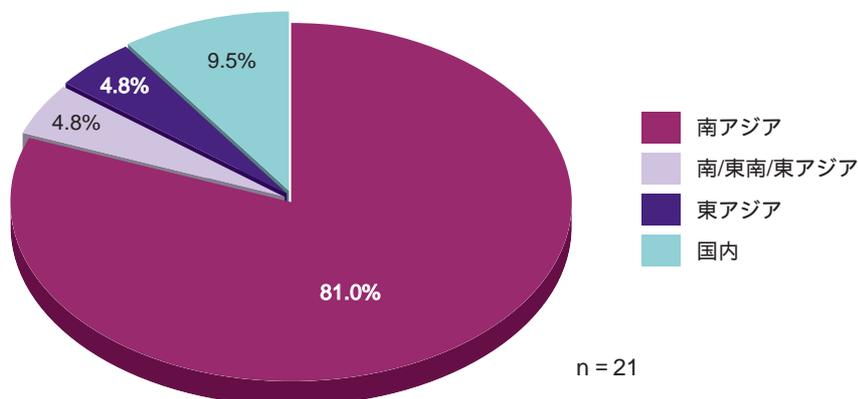


図4. パラチフスの感染地域割合(2010年)



感染症の予防の基本は感染経路の遮断であるので、日頃から手洗いの励行を心がけ、流行地への渡航などでは、生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどの飲食を避けることが肝要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

薬剤感受性検査やファージ型別等の菌の詳細な検査は、治療上、疫学上有用であり、国立感染症研究所細菌第一部において検査を実施して動向監視しているため、菌株の提供を保健所を通じて医療機関にお願いしています。結果は病原微生物検出情報誌 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-cj.html> に隔月に掲載しているため、ご参照ください。

他に、パラチフスの発生状況に関する情報として、週報(IDWR)速報、病原微生物検出情報(IASR)特集: 腸チフス・パラチフスを参照できます。
<http://idsc.nih.go.jp/disease/paratyphoid/index.html> からご覧ください。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

鳥インフルエンザ - エジプトにおける状況

2011年4月6日 - 更新49

エジプト保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たな4例のヒト感染症例を報告した。

1例目はベハイラ行政区(Behaira Governorate)の1歳男児で、2月14日発症、2月16日入院、回復して2月22日退院した。

2例目はベハイラ行政区(Behaira Governorate)の3歳女児で、3月10日発症、3月12日入院、回復して3月18日に退院した。1例目と2例目は同じ行政区であるが、異なる村からの報告であり、また親族でもない。

3例目はアレクサンドリア行政区(Alexandria Governorate)の34歳女性で、3月9日発症、3月15日入院、治療中で状態は安定している。

4例目はカフル・アッシャイフ行政区(Kafr El-Shaikh Governorate)の30歳女性で、3月7日発症、3月15日入院、回復して3月27日退院した。

感染源調査の結果、これらの4症例は鳥インフルエンザの感染が疑われた病気かつ/または死亡した家禽への曝露が確認された。

これらの症例は、WHOの世界インフルエンザサーベイランスネットワーク(WHO Global Influenza Surveillance Network)の国家インフルエンザセンターであるエジプト中央公衆衛生研究所で確定診断された。

エジプトではこれまで137例が確定診断され、そのうち45例が死亡している。

2011年4月11日 - 更新50

エジプト保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たな4例のヒト感染症例を報告した。

1例目はベハイラ行政区(Behaira Governorate)の20歳の女性で、3月14日発症、19日入院、危篤状態にあり、3月28日に死亡した。

2例目はメノフィア行政区(Menofeya Governorate)の2歳の女児で、3月26日発症、27日入院、治療中で状態は安定している。

3例目はベハイラ行政区(Behaira Governorate)の55歳の女性で、3月20日発症、22日入院、回復して4月5日に退院した。

4例目はフェイオム行政区(Fayoum Governorate)の1歳の男児で、3月20日発症、28日入院、治療中で状態は安定している。

全症例に入院の時点でオセルタミビルが投与された。

感染源調査の結果、4症例は鳥インフルエンザ感染が疑われた病気かつ/または死亡した家禽への曝露が確認された。

これらの症例は、WHOの世界インフルエンザサーベイランスネットワーク(WHO Global Influenza Surveillance Network)の国家インフルエンザセンターであるエジプト中央公衆衛生研究所により確定診断された。

エジプトではこれまでに141例が確定診断され、そのうち46例が死亡している。

鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況

2011年4月11日 - 更新2

カンボジア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たなヒト感染症例を報告した。

症例はカンポング・チャム省ステング・トラング地区(Steung Trang district, Kampong Cham Province)の11歳の女兒で、3月22日発症し村人が初期の治療を実施したが状態は改善せず、3月29日村の病院に入院した。女兒は更なる治療によっても改善せず、3月31日地域病院へ搬送されたが、入院後4時間以内に死亡した。

女兒の住んでいた村では家禽が次々に死んでいるという報告がされている。女兒はカンボジアにおける鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型に感染した14例目の症例で、合併症により死亡した12例目の症例である。今年、カンボジアにおける鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型のヒト感染症例4例は、全例死亡している。

女兒と接触があった者は全て鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型を検査し陰性であった。

鳥インフルエンザ - バングラデシュにおける状況

2011年4月11日

バングラデシュ保健家族福祉省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たなヒト感染症例を報告した。

症例はダッカのカマラプール(Kamalapur)の2歳男児で、3月1日発症、3月9日インフルエンザ定点サーベイランス機関を受診し、検体採取された。男児は回復している。

詳細な疫学調査および接触者調査が、バングラデシュ疫学疾病研究所(IEDCR)、国際下痢症研究センター(ICDDR)、およびWHO(バングラデシュ)の疫学者のチームによって実施され、追加症例は確認されなかった。

感染源調査で男児は病気の家禽との曝露が確認された。男児はこれまでに報告された症例と同じ地域の居住であるが、互いの接触はなかった。

男児は、IEDCRによって鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の感染が確定された。



感染症の話

ハンセン病

ハンセン病は皮膚と末梢神経を主な病変とする抗酸菌感染症で、現在は途上国を中心に患者がいるものの、日本では毎年数名の新規患者の発生で、過去の病気になってきている。しかし、感染症法の前文には「我が国においては、過去にハンセン病、後天性免疫不全症候群等の感染症の患者等に対するいわれのない差別や偏見が存在したという事実を重く受け止め、これを教訓として今後に生かすことが必要である。」と記載されている。

ハンセン病は社会との関係を抜きにしてはこの疾患の本質を理解することはできない。

なお、従来本疾患は「らい」、「癩」などと呼称されてきたが、これらの呼称は現在は偏見・差別を助長するものとして使用せず、「ハンセン病」が正式病名である。

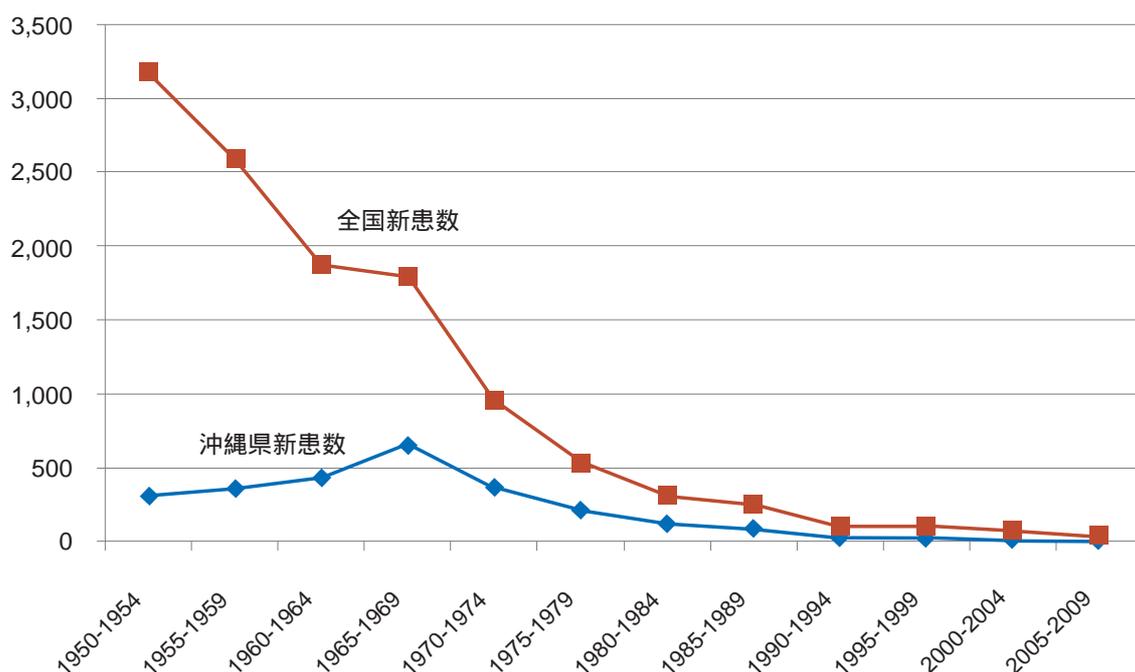
疫学

らい予防法の廃止(1996年)に伴い届け出制度はなくなったが、日本ハンセン病学会が新規患者の調査を行っている。

日本の新規患者は毎年、日本人は数名、在日外国人は約4名である。日本人では沖縄県出身者が半数を占めているものの、新規患者の減少が著しく、かつ高齢化している(表)。一方、在日外国人患者についてはブラジルなどの患者の多い国からの出身者が目立ち、若者が多い。

なお、日本は衛生環境や栄養、経済などの向上により、日本国内で新たに感染・発病する心配はない。一方、世界では年間約25万人の新規患者がいる。インド、ブラジル、インドネシア、ネパール、ミャンマーなどに多くの患者がいる。

表. 日本の新規患者数



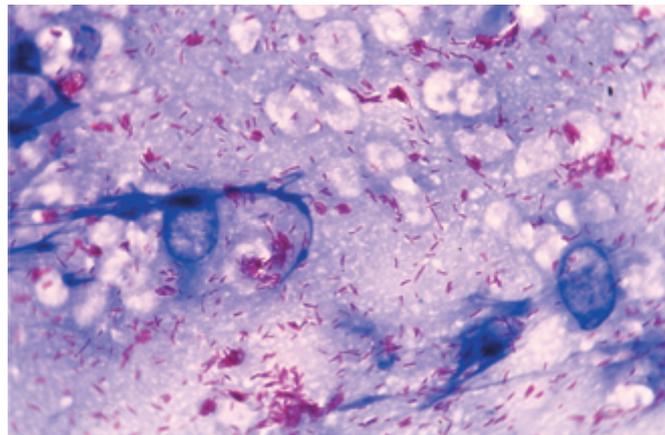
病原体

ハンセン病の原因であるらい菌(*Mycobacterium leprae*)は結核菌と同様に抗酸菌の仲間で、1873年(明治6年)にノルウェーの医師 ハンセンによって発見された(図1)。らい菌は31 前後が増殖の至適温度のため皮膚を好んで侵す。また末梢神経(シュワン細胞)に親和性があり、主に表在の末梢神経に障害を起こす。しかし、心臓や肺、肝臓などの内臓が侵されることは極めて稀であり、ハンセン病が原因で死に至ることはほとんどない。

らい菌のゲノムサイズは3.3Mbである。蛋白質をコードする遺伝子は1,604である一方、1,116の偽遺伝子が存在し、このことが、らい菌が試験管内において培養不能であることの原因ではないかと推測されている。

菌に毒力はなく、発病に繋がる感染源は、菌を多くもっている未治療患者からのヒト対ヒトの飛沫感染といわれている。感染成立に重要なのは乳幼児期で、その時期の濃厚で頻回な感染を受けた者以外ではほとんど発病につながらない。感染から発病までには、その人の免疫能、栄養状態、衛生状態、経済状態、菌量、環境要因など種々の要因が関与するため、長期間(数年 ~ 数10年)を要し、万一感染しても、発病せずに一生を終えることがほとんどであり、遺伝病ではない。

図1. らい菌 : 赤染される細長い菌(Ziehl-Neelsen染色 1,000倍)



臨床症状

痒みや痛みなどの自覚症状のない治りにくい皮疹で、白斑、紅斑、環状紅斑(図2)、結節など多彩である。皮疹にほぼ一致して知覚の鈍麻や麻痺を認める。これは末梢神経がらい菌によって障害されたためである。さらに、毛根や汗腺も障害されて、脱毛や発汗低下も起こる。

ハンセン病は他の疾患と異なり、らい菌に対する宿主(ヒト)の反応によって多様な病変(皮疹、神経症状など)を示す。多様性はハンセン病の大きな特徴で、その両極では、全く異なる疾患と見紛う程である。

体内のらい菌の数、皮疹の数や性状、神経障害の程度(知覚障害、神経肥厚、運動麻痺など)、病理組織所見などからハンセン病は4つの病型に分類される。この分類は基本的には患者のらい菌特異的な免疫応答の幅である。すなわち、発症初期のI群、その後らい菌に対し免疫能が高いTT型、全く反応しないLL型、それらの中間のB群(BT型、BB型、BL型)に分類される(Ridley-Jopling分類)。またTT型、I群、BT型の一部は検査でらい菌を検出しにくいので少菌型(paucibacillary : PB)、LL型、BL型、BB型、一部のBT型は検査でらい菌を検出できるので多

菌型(multibacillary : MB)とも分類される(WHO分類)。このPBとMBの分類は治療法の選択にも使用される。

治療中、あるいは治療前後、らい菌の菌体成分に対する免疫反応が生じ、急速な末梢神経の障害(疼痛、運動障害など)や皮疹の再燃、新生、発熱等が起こることがある(らい反応)。らい反応の症状で初診することもある。らい反応では重い神経症状をおこし、後遺症を残すことがあるので早期の対処が必要である。

日本では知覚症状を伴う皮疹、神経障害(知覚、運動、肥厚)、らい菌(スメア検査、PCR検査、病理組織検査)、病理組織の4項目を総合して診断する。

図2. 中央治癒傾向を認める環状紅斑が多発している(MB, BL型)



病原診断

ハンセン病の検査は検体数が少ないため、一般検査機関では実施していない。国立感染症研究所ハンセン病研究センターでは、病理検査、PCR検査、血清抗PGL-I抗体検査、薬剤耐性遺伝子検査などを無料で実施している。(問い合わせ先 : 石井則久、norishii@nih.go.jp)

- 1) らい菌検出の検査 : らい菌は現在まで培養に成功していないため、皮膚スメア検査と、病理組織検査、PCR検査の3つの検査で検出に努める。可能ならば3検査を全て行う。
- 2) 知覚検査 : 触覚、痛覚、温冷覚を検査する。閉眼させ、正常部と比較させる。さらに皮疹のない部分も検査する必要がある。神経内科では神経伝導速度の検査も行う。
- 3) 他の神経学的検査 : 神経の肥厚(大耳介神経、尺骨神経、橈骨神経、総腓骨神経等)、運動障害(手足の屈曲、物を掴む・挟む運動など) などを検査する。
- 4) 病理組織検査 : 皮疹部の皮膚、肥厚した神経などをメス等で採取する。通常のHE染色の他、抗酸菌染色(らい菌を観察)、S100染色(神経を観察) などを行う。
- 5) 血清抗PGL-I抗体検査 : 抗PGL-I抗体は感染指標の補助的検査として用いられる。

治療

治療の基本は、不可逆的な後遺症となる神経症状(神経炎、らい反応、後遺症などでおこる)を起こさず、らい菌を生体から排除することである。

治療は世界保健機関(WHO)の推奨する複数の抗菌薬[リファンピシン(RFP)、サルファ剤(DDS)、クロファジミン(CLF)]をPBでは半年、MBでは数年間内服する(多剤併用療法, MDT) (図3) ことで治癒する。

ハンセン病による神経炎の治療は抗菌薬療法を継続しながら、炎症を抑制するために、ステロイド内服薬を適宜投与する。さらに日常生活での患者教育も重要である。特に、温痛覚麻痺のある部位に対する外傷や火傷の予防とこれらの傷害の早期発見に努める。手足の隅々まで外傷がないかどうかを、毎日点検する習慣をつける指導を行う。

図3. WHO/MDTのプリスターパック。RFP,DDS,CLFの組み合わせ。
WHOから各国に無償提供されている



(国立感染症研究所ハンセン病研究センター 石井則久)



読者のコーナー

投稿(速報):

塩釜～多賀城地区における震災後の成人呼吸器感染症発症状況 (2011年4月7日)

塩釜～多賀城地区は宮城県の沿岸に位置しており今回の震災に伴って大きな被害を受けたが、当院の細菌検査室は地下に設置されていたため被害が比較的軽微にとどまり、急性期から細菌検査機能は維持できている。いくつかの周辺医療機関は機能が大きく低下したことから当院にも多数の患者が集中し、被災数日後から呼吸器感染症患者も急増している。市中肺炎を中心としたこれらの症例に関する細菌学的検査の結果をみると、いくつかの点で平常時とはかなり違うパターンを示していることが判明したため被災後3週間までの暫定的な情報を提示する。

この3週間に喀痰検査を施行した喀痰検体においては、肺炎球菌、インフルエンザ菌、モラキセラの3菌種が平常時と比較して異常に高率に分離されており、とくにインフルエンザ菌およびモラキセラの分離件数が極端に増加しているのが特徴的である。3/12～4/1の3週間における3菌種の分離状況を2007年以降の5年間で比較した成績を表1に提示する。なお検討対象が喀痰であるため菌株ほぼ全例が成人例から分離されたものとなっている。

表1. 喀痰検体からの3菌種の分離状況

	2007年 (3/12～4/1)	2008年 (3/12～4/1)	2009年 (3/12～4/1)	2010年 (3/12～4/1)	2011年 (3/12～4/1)
肺炎球菌	21	16	24	22	25
インフルエンザ菌	13	13	8	5	31
モラキセラ	3	7	6	1	32
喀痰検体総数	150	180	108	129	145

この期間に当院を受診した市中肺炎症例のなかで喀痰培養を施行できた70例に関してみると、肺炎球菌17株、インフルエンザ菌26株、モラキセラ24株が分離されている。ほとんどの菌は不適切痰以外から2+以上で分離されており、またグラム染色でも好中球の貪食像が確認されていることから単なる保菌ではなくて起炎菌である可能性が高いものと考えられる。また70症例中のその他の推定起炎病原体としては、インフルエンザウイルス3件、クレブシエラ1件、大腸菌1件、結核1件が確認されている。

これらの3菌種に関する抗菌薬感受性を当院の平常時の菌株と比較すると(表2～4)、まず肺炎球菌に関してはペニシリン感受性株が明らかに増加しており、マクロライドやテトラサイクリン感受性も明らかに改善している。インフルエンザ菌もペニシリン感受性は改善しており、とくにこの間ラクタマーゼ産生株は1株も分離されていない。一方では大幅に分離率が増加しているモラキセラに関しては抗菌薬感受性の明らかな変動は認められていない。なおこれらの菌株の抗菌薬感受性はディスク法によりCLSIの基準に基づいて判定を行っている。

患者背景をみると当院の本来の診療圏である塩釜市、多賀城市、利府町、松島町、七ヶ浜町および仙台市の一部からの症例が被災後も大多数を占めており、また被災後の生活スタイルとしては避難所由来の患者が半数程度、自宅由来の患者が半数程度となっている。正確な分析は現時点では困難だが、患者の年齢幅は28～98歳(平均74.6歳)であり、患者の年齢構成や基礎疾患保有状況に関しては平常時と比較して大きな変動は認められていない。特定の地域や避難所に偏った分布は示していないことから今回の現象は少なくとも限局的なアウトブレイクというよ

りはある程度の普遍性をもった現象であるものと推測される。4月7日現在では依然としてほぼ同様の状況が継続しており、明らかな収束傾向は認められていない。

表2. 肺炎球菌の抗菌薬感受性率

抗菌薬	2007年度	2008年度	2009年度	震災後3週間 (3/12~4/1)
A B P C	51	57	50	80
P I P C	48	51	49	80
C E X	58	58	58	90
C T X	100	99	99	100
E M	29	24	26	40
C L D M	53	52	55	80
M I N O	42	39	37	60
L V F X	95	93	91	100

表3. インフルエンザ菌の抗菌薬感受性率

抗菌薬	2007年度	2008年度	2009年度	震災後3週間 (3/12~4/1)
A B P C	84	82	90	100
P I P C	86	83	90	100
C E Z	19	15	21	12
C T M	45	44	42	62
C T X	99	98	99	100
E M	7	3	5	0
M I N O	94	97	97	100
L V F X	100	99	100	100

表4. モラキセラの抗菌薬感受性率

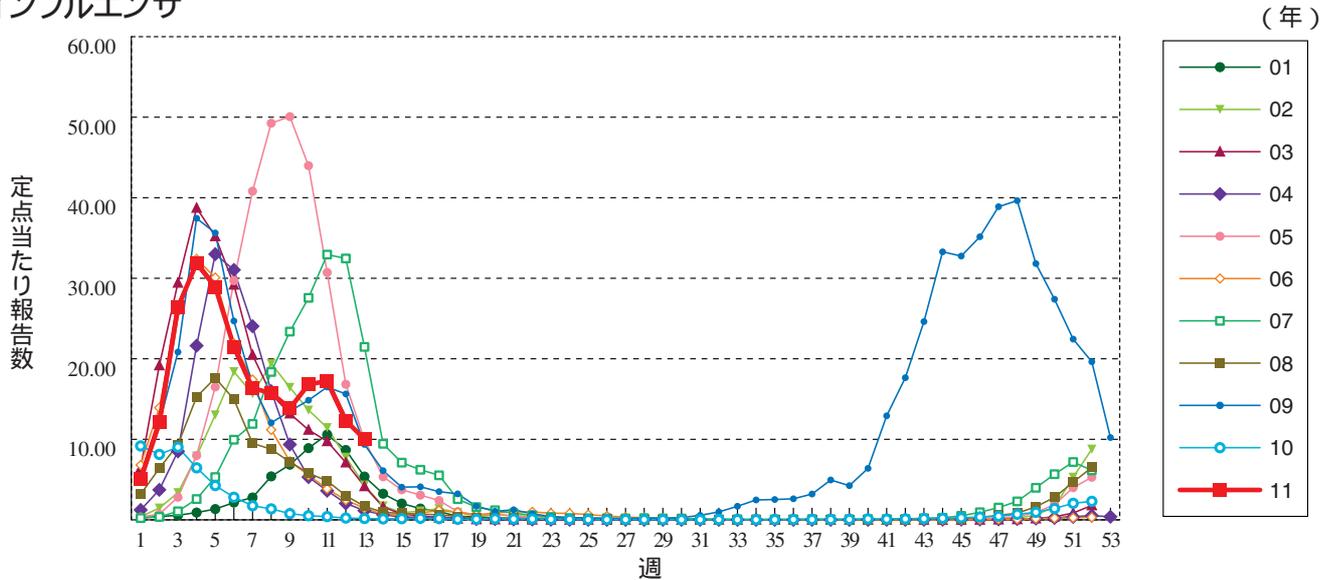
抗菌薬	2007年度	2008年度	2009年度	震災後3週間 (3/12~4/1)
A B P C	2	2	2	0
P I P C	2	2	2	0
C E Z	93	88	94	94
C T M	100	100	100	100
C T X	100	100	100	100
E M	97	92	95	100
M I N O	100	100	100	100
L V F X	100	100	100	100

宮城厚生協会 坂総合病院
 呼吸器科 高橋 洋、生方 智、佐藤栄三郎、庄司 淳
 細菌検査室 歌川睦子

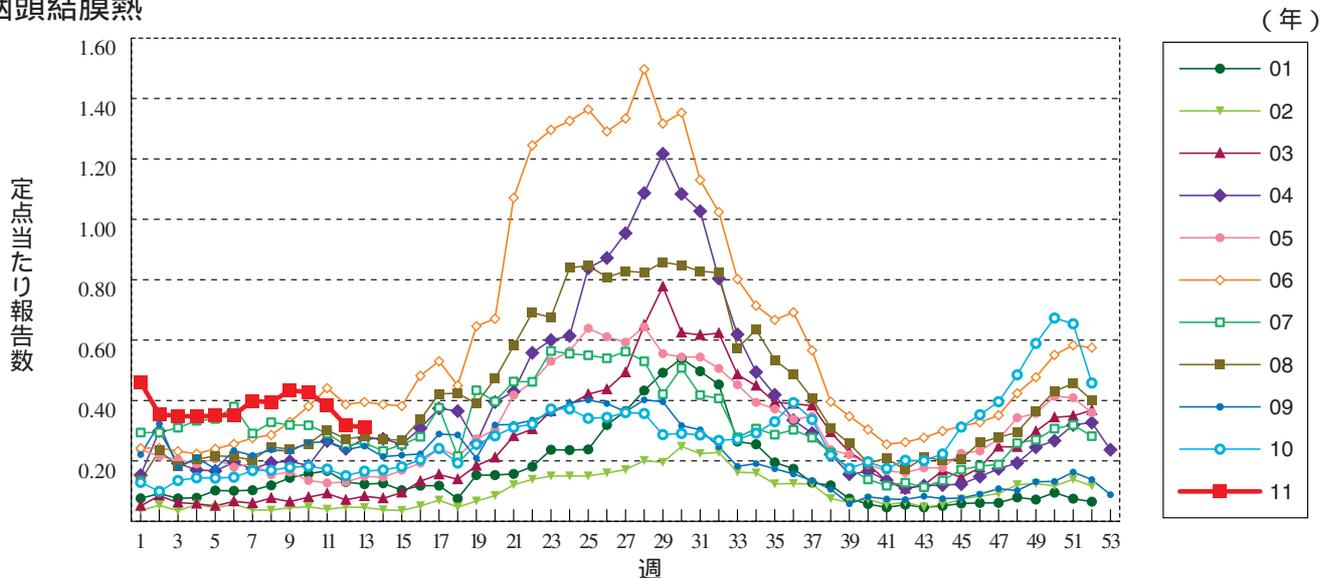


グラフ総覧(13週)

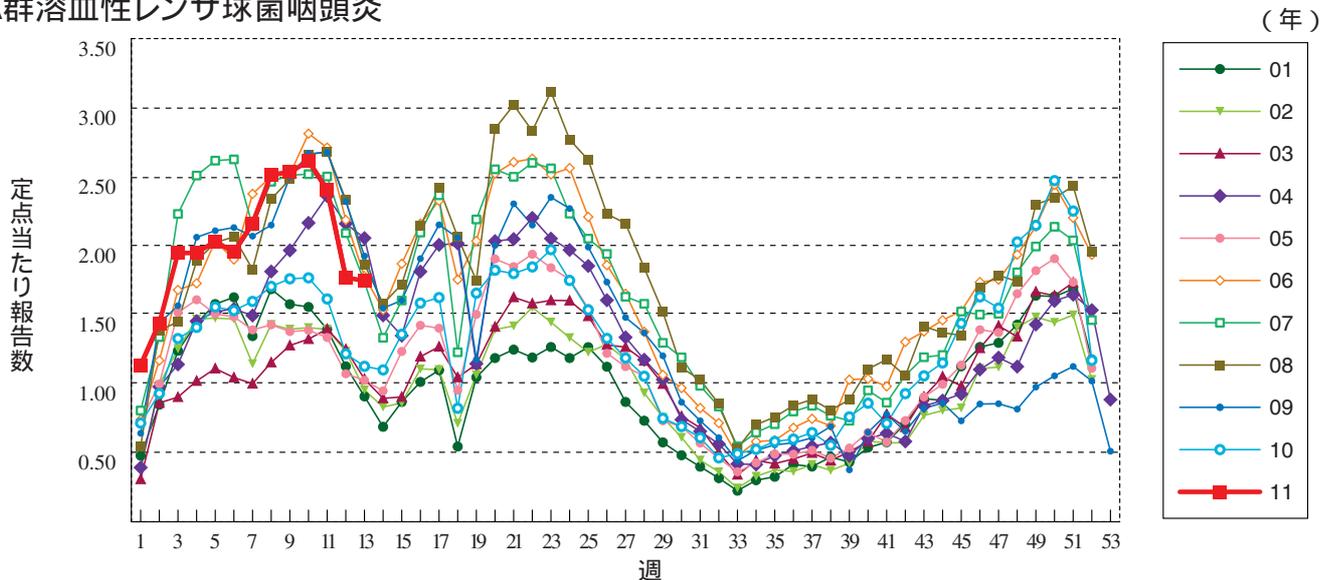
インフルエンザ



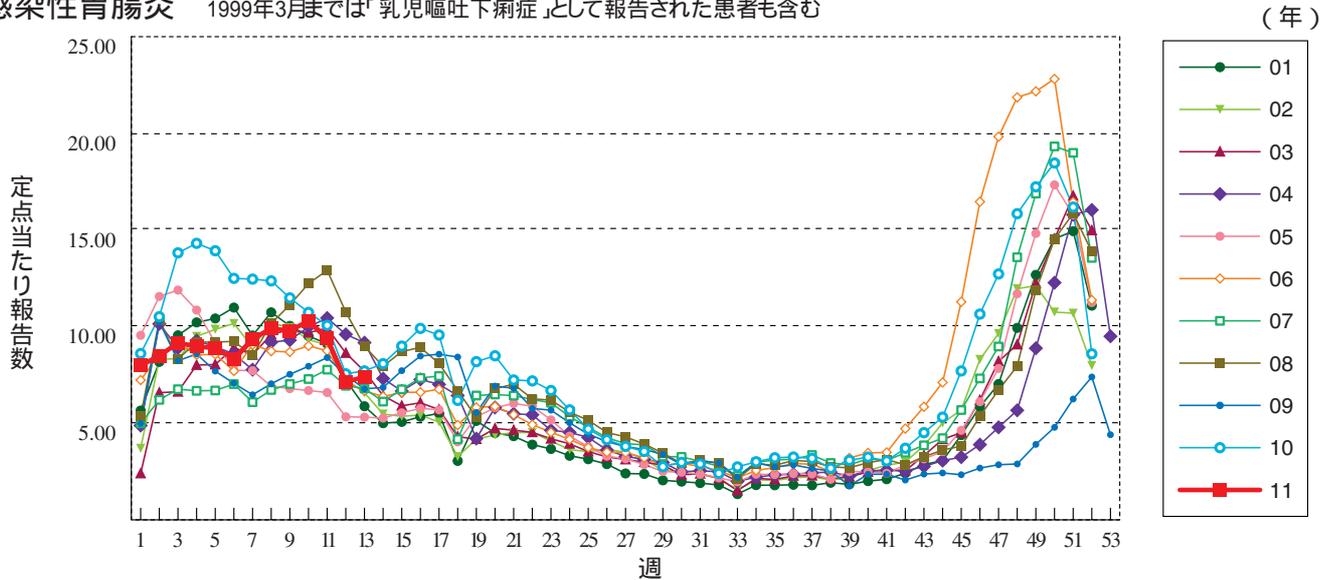
咽頭結膜熱



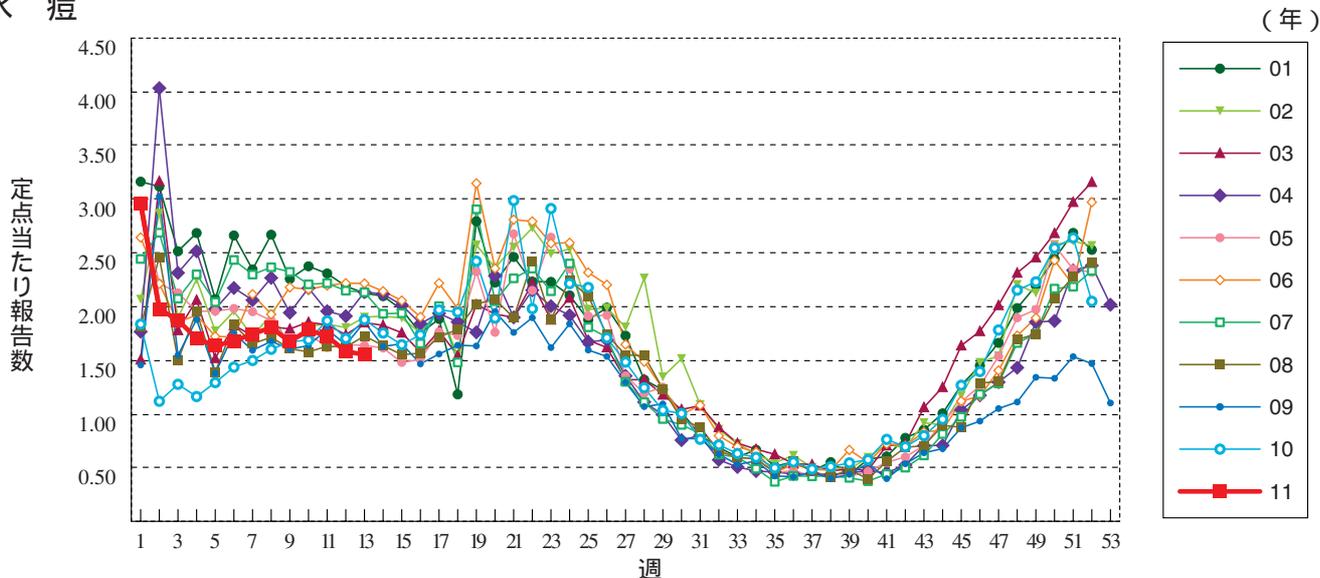
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



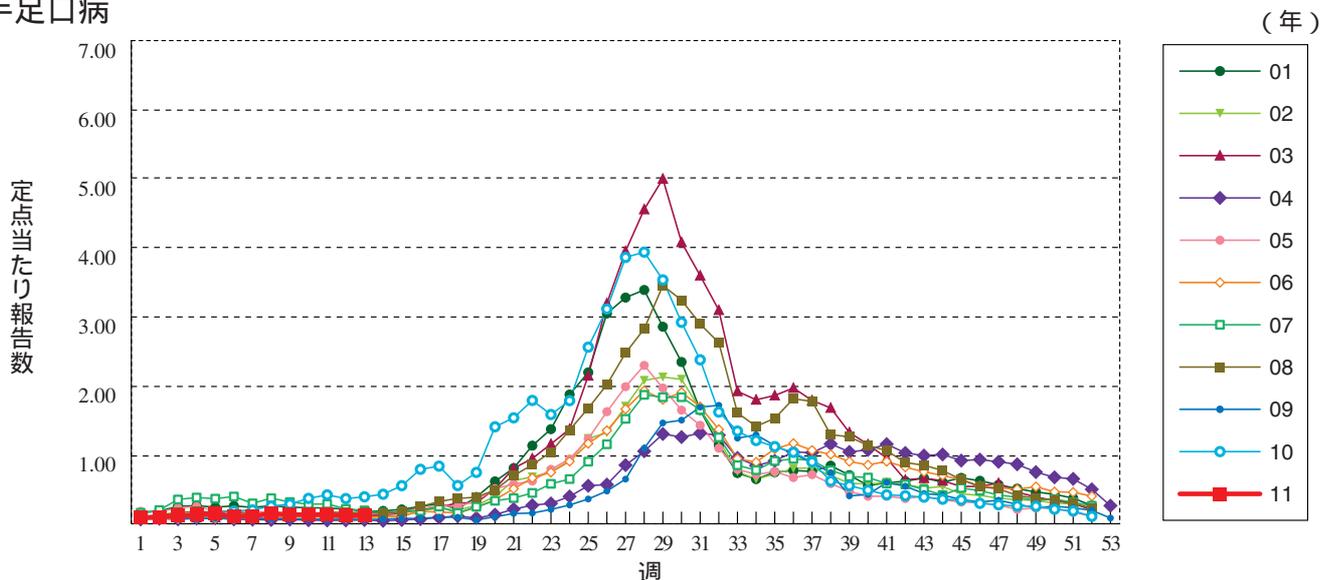
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



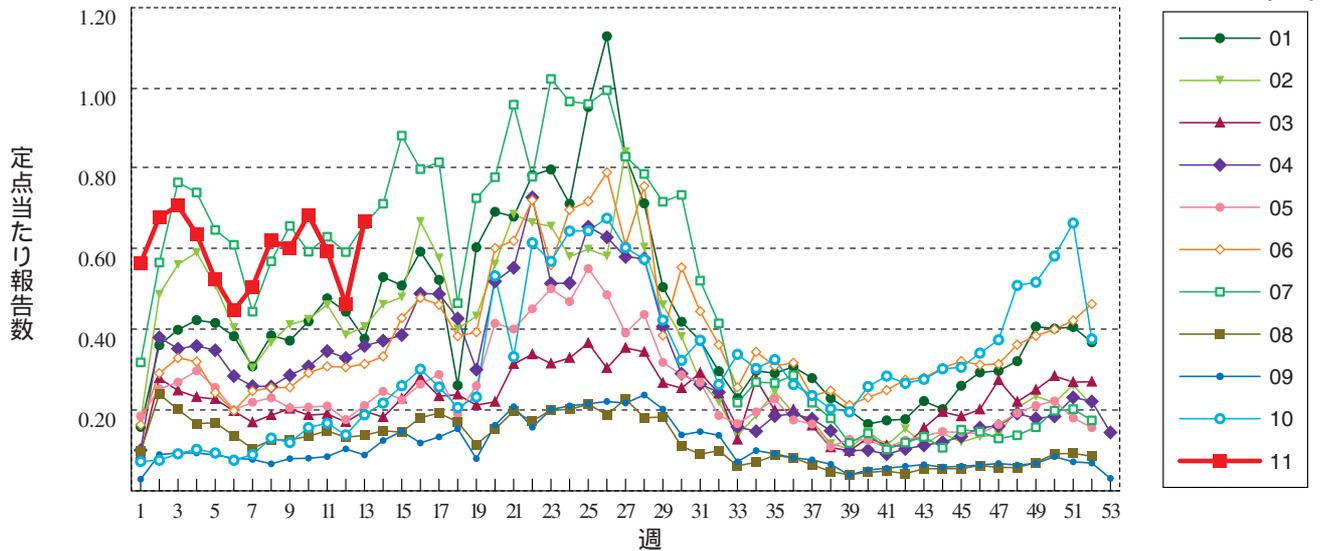
水痘



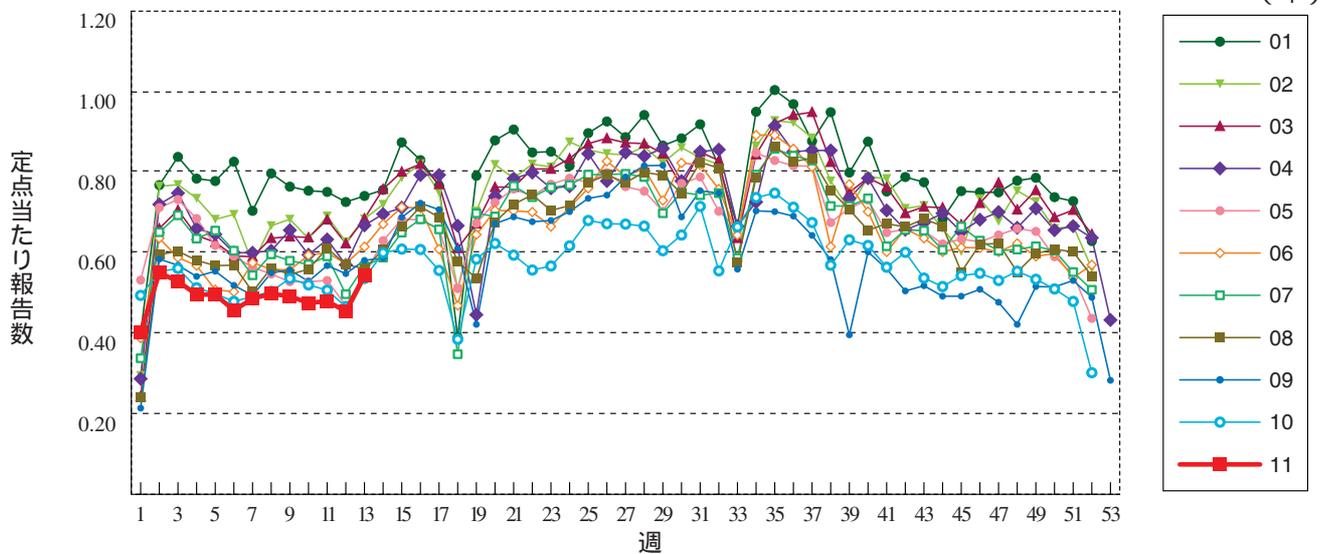
手足口病



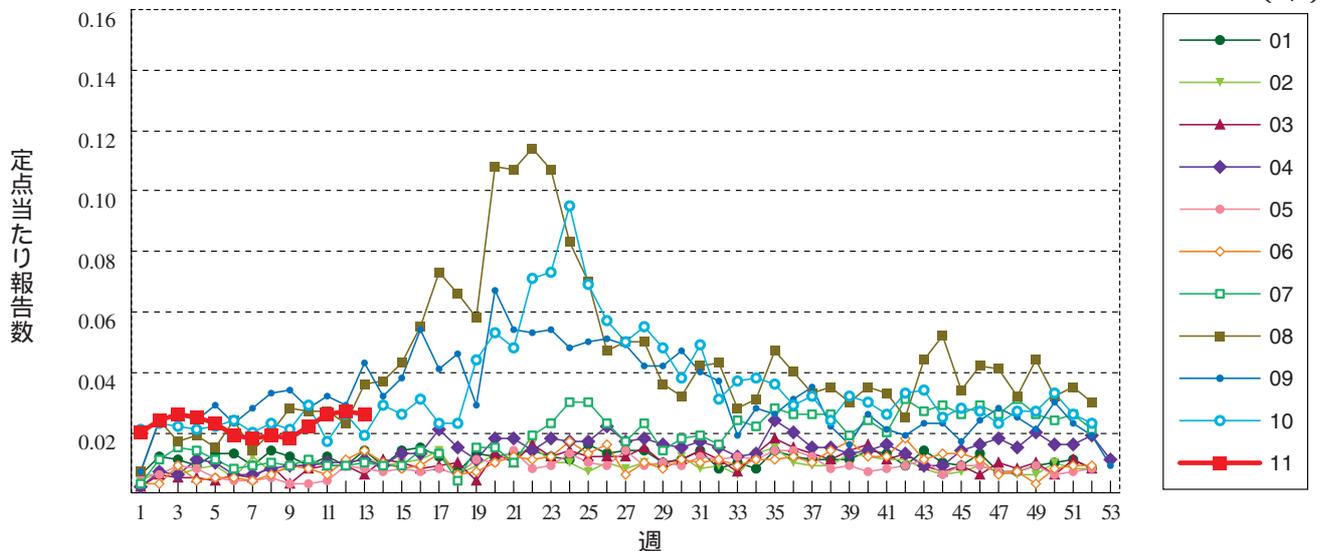
伝染性紅斑



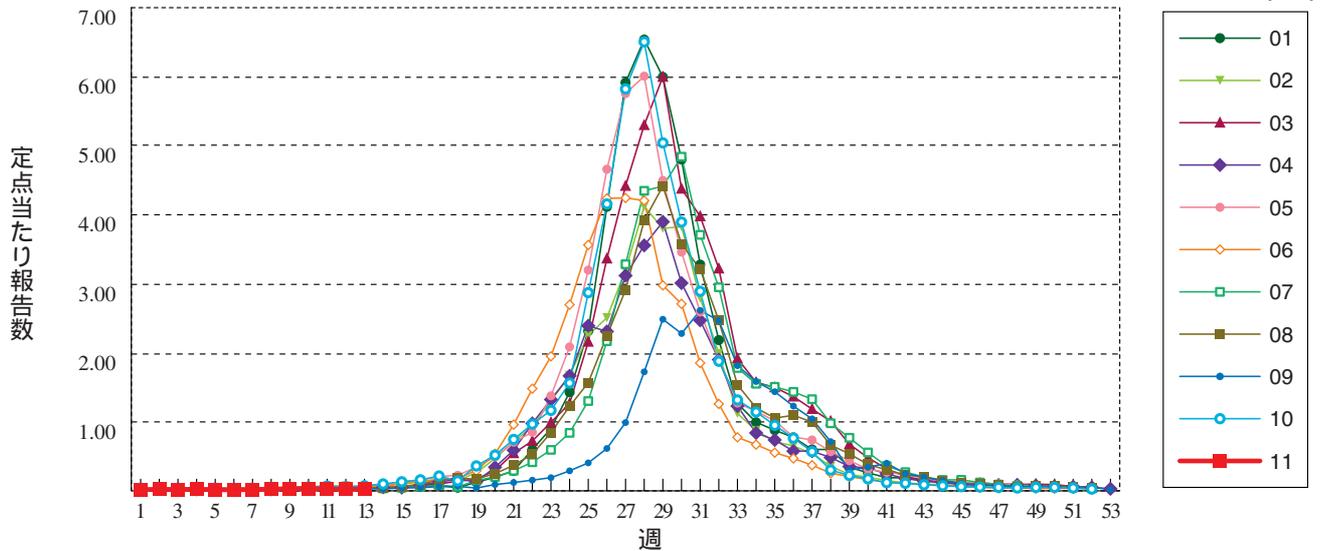
突発性発しん



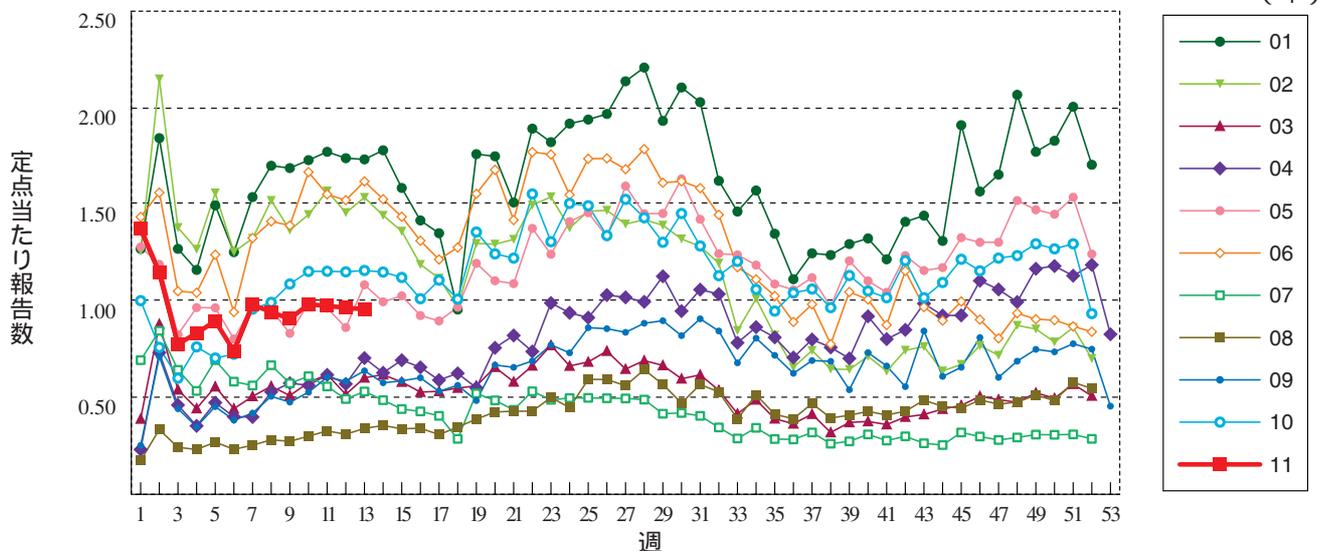
百日咳



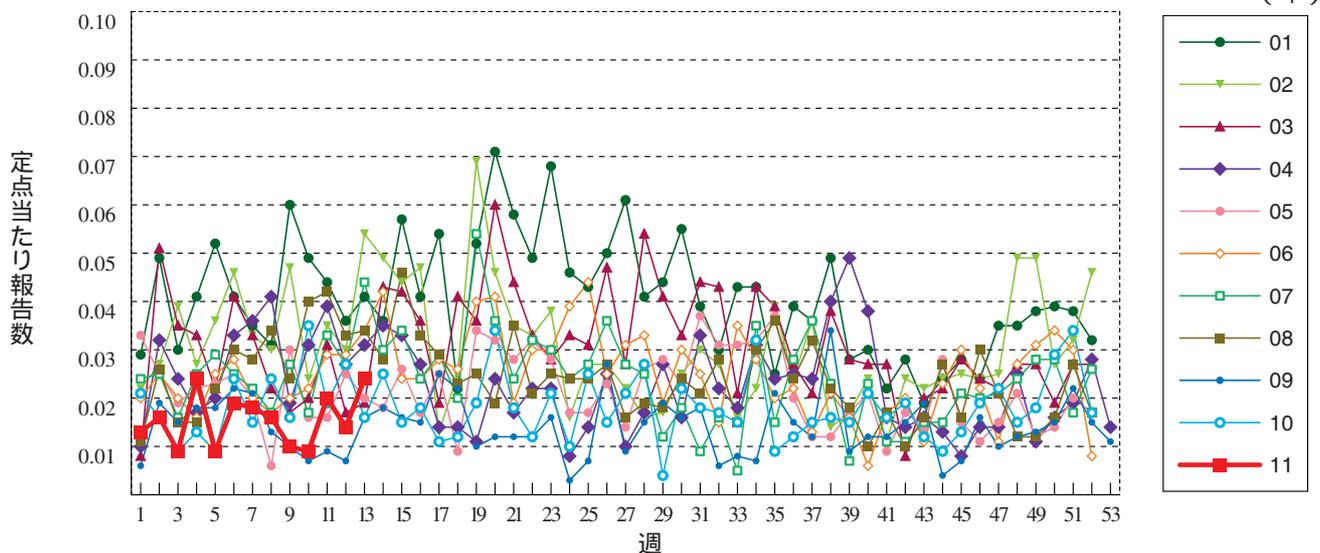
ヘルパンギーナ



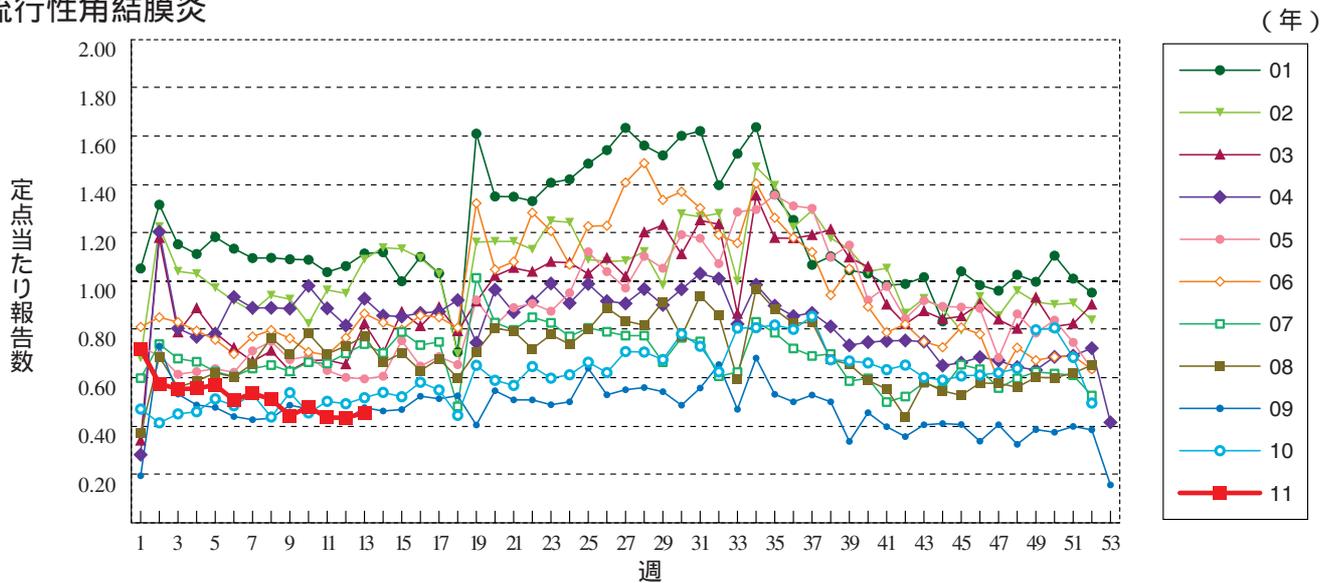
流行性耳下腺炎



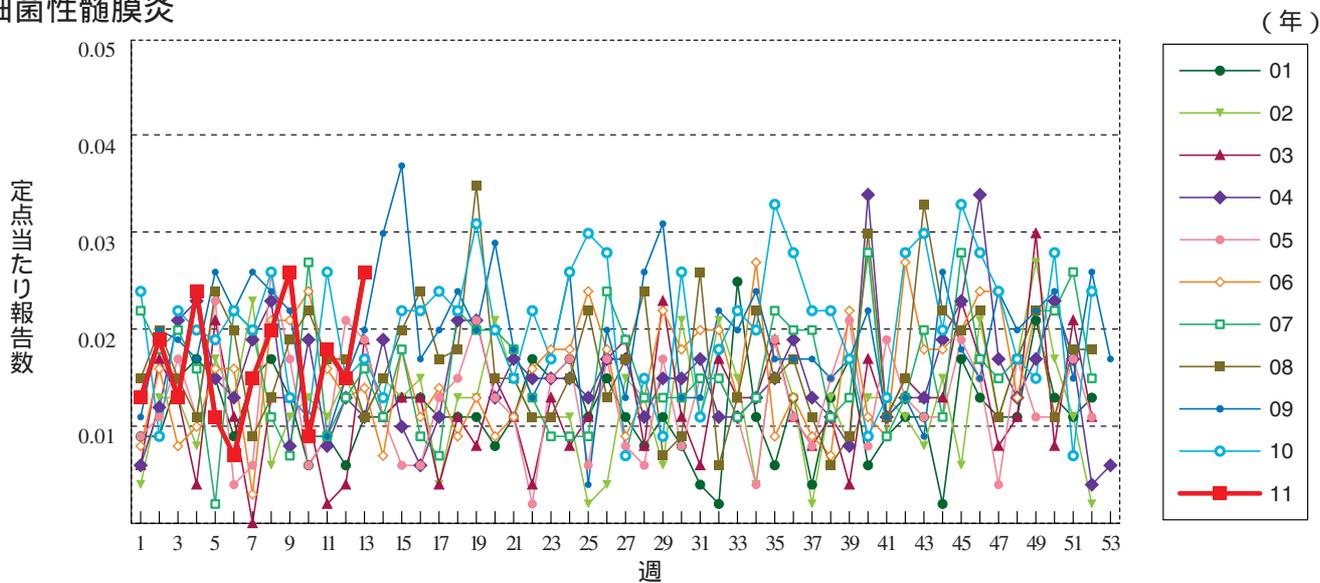
急性出血性結膜炎



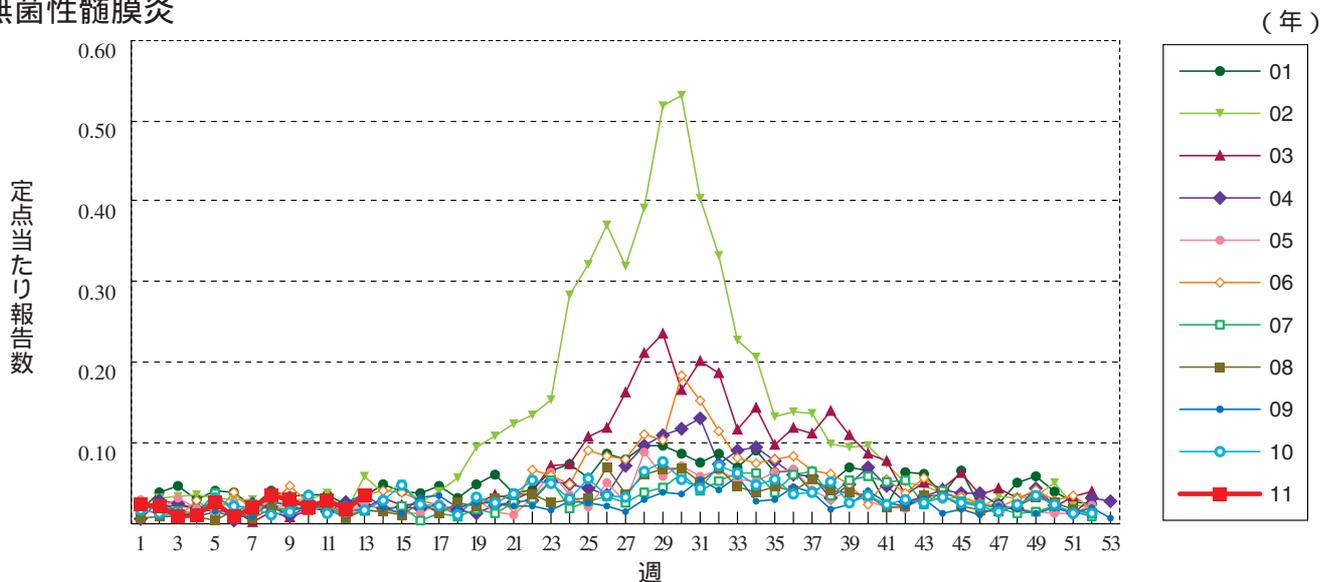
流行性角結膜炎



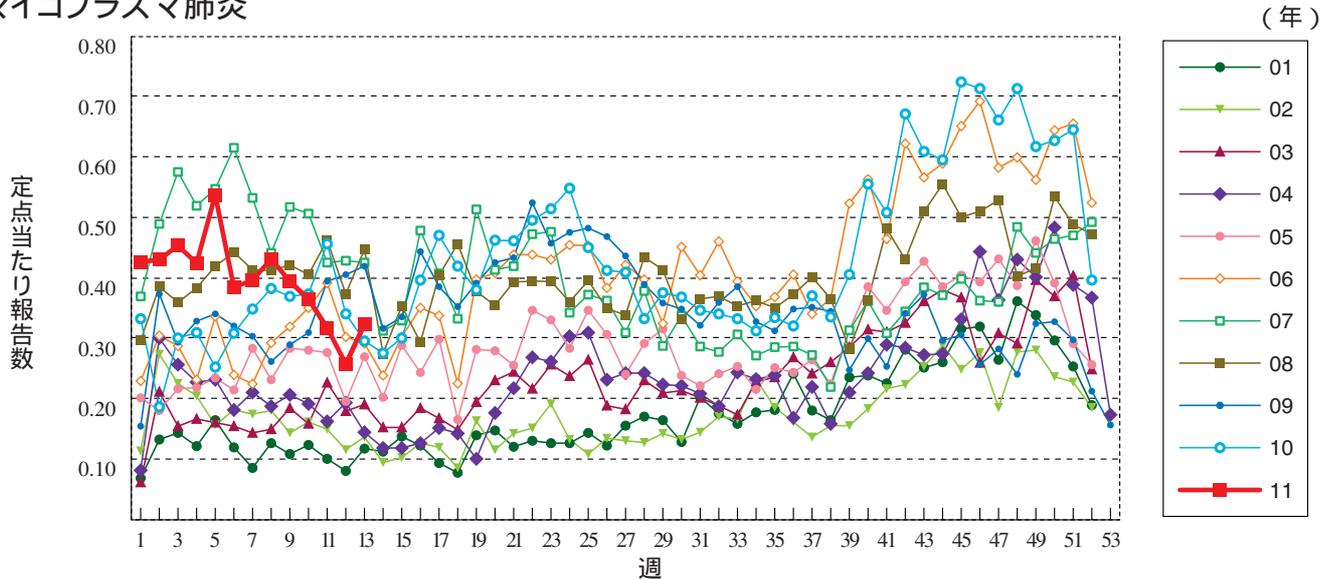
細菌性髄膜炎



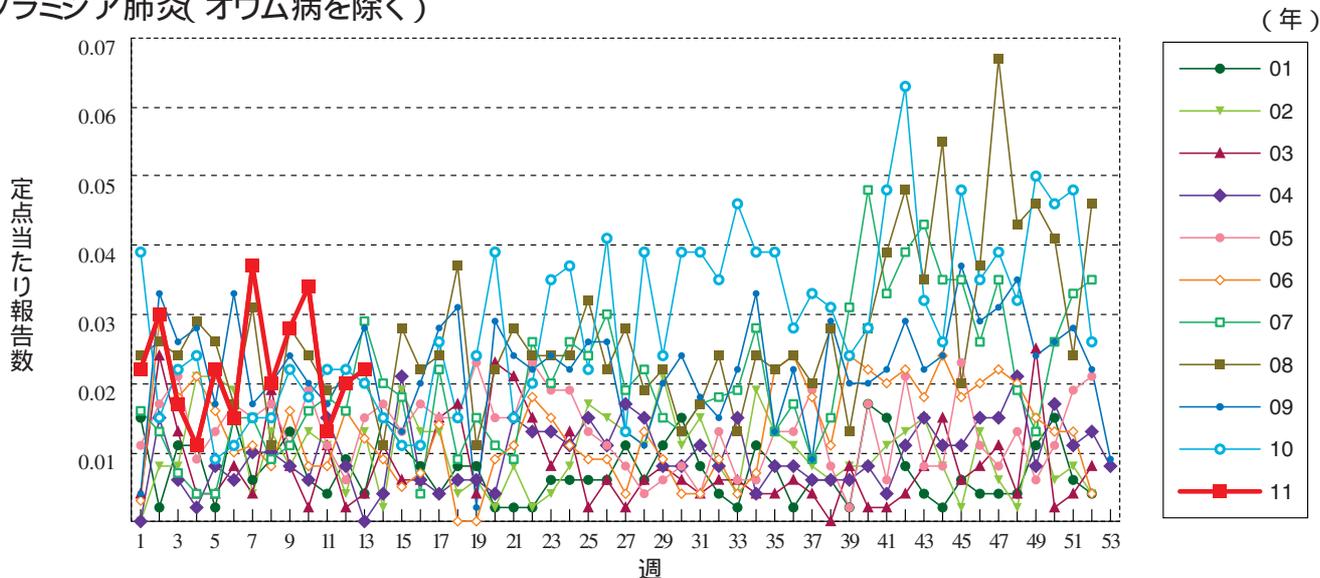
無菌性髄膜炎



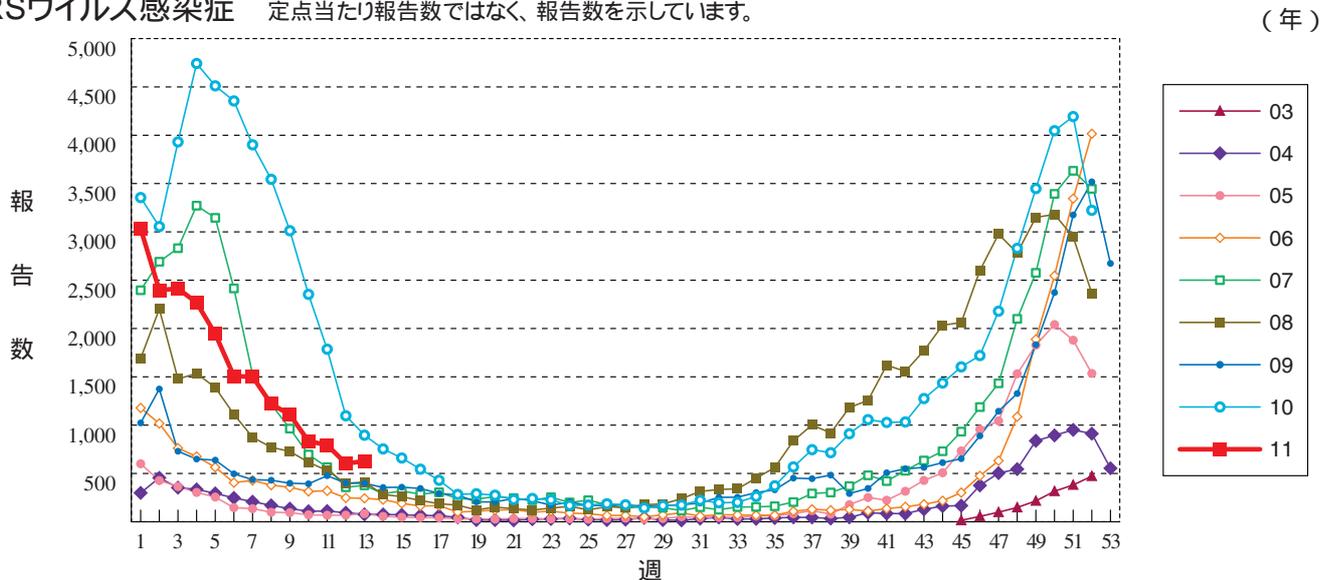
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





13週のデータ

注)表中の報告数は4月6日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	328	6307
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	236
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	76
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	39
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	74
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	32
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	56
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	61
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	139
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	73
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	352
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	333
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	991
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	413
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	94
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	41
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	74
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	79
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	105
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	167
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	479
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	80
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	80
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	63
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	288
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	226
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	41
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	110
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	37
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	58
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	238
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	70
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	69
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	246
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	83
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	84
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	67
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	75
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	94
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	64

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	2	58	4	180	-	2	-	8	-	16
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	12	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	17	-	-	-	5	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	7	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	94	-	8	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	41
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	11	-	-	-	1	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年13週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	8	122	-	2	-	-	6	169	2	61	2	92	1	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	12	-	5	-	10	-	-
東京都	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	2	41	-	8	-	7	1	2
神奈川県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	3	15	-	2	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	6	1	3	1	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	8	-	4	-	7	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	4	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	3	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	26	2	58	6	313	2	17	-	1	-	-	10	159	-	15	-	-
北海道	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	1	3	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
千葉県	1	2	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
東京都	-	5	1	11	1	100	1	4	-	-	-	-	2	43	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	6	1	17	1	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	1	2	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	19	-	2	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
大阪府	-	2	-	4	-	33	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	2	-	11	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
広島県	-	1	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	3	-	12	-	-	-	1	-	-	2	9	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年13週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	4	41	7	93
北海道	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1	3
岩手県	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	-	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	1	1	-	4
千葉県	-	2	-	5	-	7
東京都	-	-	1	3	2	22
神奈川県	-	3	-	4	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	1	-	2
愛知県	-	-	1	3	1	6
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	2	1	7	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	1	-	17
山口県	-	-	-	-	1	2
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	1	1	2
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	4	1	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	48290	10.02	958	0.31	5381	1.74	22811	7.40	4786	1.55	382	0.12	2066	0.67	1674	0.54	79	0.03
北海道	3326	14.59	26	0.18	433	3.03	430	3.01	230	1.61	8	0.06	216	1.51	47	0.33	1	0.01
青森県	596	9.17	10	0.24	28	0.67	146	3.48	61	1.45	11	0.26	17	0.40	20	0.48	-	-
岩手県	100	1.79	3	0.09	38	1.09	87	2.49	32	0.91	17	0.49	10	0.29	13	0.37	-	-
宮城県	95	0.99	6	0.10	80	1.33	204	3.40	49	0.82	2	0.03	37	0.62	41	0.68	-	-
秋田県	169	3.07	10	0.29	41	1.17	155	4.43	49	1.40	1	0.03	13	0.37	14	0.40	-	-
山形県	285	5.94	18	0.60	100	3.33	175	5.83	73	2.43	-	-	56	1.87	25	0.83	-	-
福島県
茨城県	380	3.17	17	0.23	82	1.09	173	2.31	57	0.76	1	0.01	58	0.77	26	0.35	2	0.03
栃木県	329	4.33	10	0.21	40	0.83	191	3.98	48	1.00	3	0.06	54	1.13	27	0.56	2	0.04
群馬県	1266	12.92	8	0.13	88	1.47	416	6.93	78	1.30	-	-	32	0.53	25	0.42	-	-
埼玉県	2600	10.83	40	0.26	259	1.70	831	5.47	238	1.57	9	0.06	116	0.76	90	0.59	5	0.03
千葉県	1295	6.29	11	0.08	283	2.18	599	4.61	176	1.35	9	0.07	77	0.59	62	0.48	3	0.02
東京都	3183	7.76	53	0.21	404	1.57	1383	5.36	259	1.00	12	0.05	139	0.54	146	0.57	8	0.03
神奈川県	1920	5.96	40	0.20	245	1.20	1042	5.08	262	1.28	5	0.02	73	0.36	124	0.60	12	0.06
新潟県	990	10.31	14	0.23	196	3.21	396	6.49	171	2.80	2	0.03	29	0.48	30	0.49	1	0.02
富山県	326	6.79	23	0.79	80	2.76	293	10.10	46	1.59	3	0.10	12	0.41	12	0.41	-	-
石川県	1013	21.10	13	0.45	179	6.17	336	11.59	66	2.28	-	-	71	2.45	14	0.48	-	-
福井県	416	13.00	28	1.27	99	4.50	282	12.82	35	1.59	6	0.27	30	1.36	8	0.36	-	-
山梨県	686	17.15	1	0.04	27	1.13	145	6.04	15	0.63	-	-	13	0.54	6	0.25	-	-
長野県	1142	12.98	6	0.11	76	1.38	356	6.47	63	1.15	1	0.02	21	0.38	28	0.51	2	0.04
岐阜県	1245	14.31	24	0.45	40	0.75	314	5.92	46	0.87	3	0.06	19	0.36	22	0.42	-	-
静岡県	858	6.65	22	0.27	107	1.30	588	7.17	167	2.04	6	0.07	61	0.74	48	0.59	-	-
愛知県	1877	9.58	50	0.27	261	1.43	1648	9.01	253	1.38	19	0.10	100	0.55	108	0.59	5	0.03
三重県	921	12.79	28	0.62	71	1.58	465	10.33	78	1.73	15	0.33	21	0.47	22	0.49	2	0.04
滋賀県	444	8.38	23	0.72	57	1.78	247	7.72	49	1.53	4	0.13	39	1.22	15	0.47	-	-
京都府	741	6.02	4	0.05	66	0.89	582	7.86	43	0.58	2	0.03	24	0.32	26	0.35	-	-
大阪府	2434	8.17	43	0.22	368	1.89	1508	7.73	274	1.41	32	0.16	83	0.43	127	0.65	6	0.03
兵庫県	1628	8.18	111	0.86	168	1.30	1228	9.52	206	1.60	12	0.09	95	0.74	50	0.39	2	0.02
奈良県	398	7.24	13	0.37	29	0.83	250	7.14	46	1.31	7	0.20	19	0.54	10	0.29	1	0.03
和歌山県	392	7.84	8	0.26	29	0.94	205	6.61	31	1.00	17	0.55	18	0.58	11	0.35	-	-
鳥取県	389	13.41	1	0.05	59	3.11	118	6.21	36	1.89	1	0.05	14	0.74	8	0.42	2	0.11
島根県	461	12.46	17	0.77	31	1.41	256	11.64	12	0.55	2	0.09	24	1.09	10	0.45	-	-
岡山県	1187	14.13	8	0.15	47	0.87	482	8.93	83	1.54	15	0.28	9	0.17	24	0.44	-	-
広島県	1982	17.23	47	0.65	178	2.47	832	11.56	70	0.97	21	0.29	30	0.42	33	0.46	10	0.14
山口県	1208	17.51	34	0.71	119	2.48	407	8.48	72	1.50	4	0.08	41	0.85	33	0.69	-	-
徳島県	96	2.46	4	0.17	32	1.33	235	9.79	32	1.33	-	-	6	0.25	14	0.58	-	-
香川県	254	5.18	8	0.27	28	0.93	372	12.40	68	2.27	-	-	1	0.03	22	0.73	-	-
愛媛県	811	13.30	8	0.22	52	1.41	496	13.41	96	2.59	-	-	12	0.32	27	0.73	-	-
高知県	881	18.35	4	0.13	40	1.33	332	11.07	47	1.57	15	0.50	8	0.27	13	0.43	1	0.03
福岡県	3829	19.34	46	0.38	238	1.98	1332	11.10	302	2.52	30	0.25	148	1.23	108	0.90	13	0.11
佐賀県	309	7.92	20	0.87	30	1.30	169	7.35	39	1.70	4	0.17	39	1.70	21	0.91	-	-
長崎県	560	8.00	22	0.50	64	1.45	318	7.23	103	2.34	4	0.09	23	0.52	25	0.57	-	-
熊本県	703	8.79	12	0.25	60	1.25	662	13.79	126	2.63	1	0.02	23	0.48	28	0.58	-	-
大分県	1489	25.67	5	0.14	36	1.00	476	13.22	76	2.11	6	0.17	25	0.69	39	1.08	-	-
宮崎県	1558	26.41	16	0.44	186	5.17	639	17.75	114	3.17	15	0.42	66	1.83	37	1.03	-	-
鹿児島県	937	10.08	35	0.64	158	2.87	840	15.27	161	2.93	8	0.15	38	0.69	31	0.56	-	-
沖縄県	581	10.02	8	0.24	49	1.44	170	5.00	148	4.35	49	1.44	6	0.18	4	0.12	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	76	0.02	2953	0.96	16	0.02	301	0.45	12	0.03	16	0.04	147	0.32	10	0.02	627
北海道	-	-	135	0.94	-	-	12	0.41	-	-	-	-	5	0.22	-	-	55
青森県	-	-	57	1.36	-	-	3	0.27	-	-	-	-	4	0.67	-	-	18
岩手県	9	0.26	60	1.71	-	-	3	0.25	-	-	-	-	5	0.29	-	-	7
宮城県	-	-	63	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.67	-	-	8
秋田県	-	-	9	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.50	-	-	25
山形県	1	0.03	35	1.17	-	-	2	0.25	-	-	-	-	4	0.40	-	-	1
福島県
茨城県	-	-	62	0.83	-	-	14	0.82	-	-	-	-	3	0.23	-	-	3
栃木県	1	0.02	28	0.58	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.29	-	-	5
群馬県	1	0.02	44	0.73	-	-	13	0.87	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-	2
埼玉県	4	0.03	67	0.44	2	0.05	12	0.28	-	-	-	-	13	1.44	2	0.22	9
千葉県	-	-	82	0.63	3	0.09	15	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	5	0.02	70	0.27	-	-	11	0.30	-	-	-	-	6	0.25	-	-	20
神奈川県	4	0.02	110	0.54	-	-	33	0.80	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	13
新潟県	-	-	134	2.20	3	0.33	-	-	-	-	-	-	1	0.08	6	0.50	21
富山県	-	-	40	1.38	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3
石川県	-	-	24	0.83	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5
福井県	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	1	0.17	3	0.50	-	-	1
山梨県	-	-	8	0.33	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.10	-	-	3
長野県	-	-	260	4.73	-	-	2	0.18	-	-	2	0.18	1	0.09	-	-	7
岐阜県	-	-	15	0.28	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	80	0.98	-	-	8	0.42	-	-	2	0.22	4	0.44	1	0.11	19
愛知県	3	0.02	74	0.40	-	-	5	0.15	2	0.13	1	0.06	9	0.56	1	0.06	20
三重県	3	0.07	14	0.31	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11	-	-	8
滋賀県	6	0.19	45	1.41	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	2
京都府	-	-	28	0.38	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	12	0.06	150	0.77	2	0.04	11	0.22	8	0.53	2	0.13	10	0.67	-	-	68
兵庫県	2	0.02	135	1.05	-	-	17	0.49	-	-	-	-	-	-	-	-	30
奈良県	-	-	9	0.26	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	9
和歌山県	1	0.03	32	1.03	-	-	6	1.50	-	-	-	-	1	0.09	-	-	8
鳥取県	-	-	56	2.95	-	-	2	0.67	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	-
島根県	2	0.09	23	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	1	0.02	44	0.81	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4
広島県	7	0.10	59	0.82	1	0.05	12	0.63	-	-	-	-	2	0.10	-	-	16
山口県	-	-	49	1.02	-	-	6	0.67	-	-	1	0.11	2	0.22	-	-	8
徳島県	-	-	65	2.71	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4
香川県	-	-	111	3.70	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県	1	0.03	63	1.70	-	-	14	1.75	-	-	-	-	3	0.50	-	-	8
高知県	2	0.07	10	0.33	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.57	-	-	1
福岡県	1	0.01	137	1.14	-	-	18	0.69	-	-	-	-	1	0.07	-	-	72
佐賀県	-	-	40	1.74	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.17	-	-	14
長崎県	-	-	41	0.93	4	0.50	5	0.63	-	-	-	-	2	0.17	-	-	7
熊本県	5	0.10	90	1.88	-	-	9	1.00	-	-	1	0.07	2	0.13	-	-	8
大分県	-	-	40	1.11	-	-	3	0.60	-	-	-	-	1	0.09	-	-	8
宮崎県	1	0.03	80	2.22	-	-	9	1.50	-	-	-	-	1	0.14	-	-	29
鹿児島県	3	0.05	150	2.73	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.25	-	-	36
沖縄県	1	0.03	24	0.71	-	-	20	2.00	-	-	3	0.43	25	3.57	-	-	18

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年13週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	-	3	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年13週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第13号 2011年4月15日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。